

重点戦略とSDGsとの関係について

第五次環境基本計画（素案）	SDGs
<p>1. 持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築</p> <p>(1) 企業戦略における環境ビジネス・環境配慮の主流化 (2) 国内資源の最大限の活用による国際収支の改善・産業競争力の強化 (3) 金融を通じたグリーンな経済システムの構築 (4) グリーンな経済システムの基盤となる税制</p>	
<p>2. 国土のストックとしての価値の向上</p> <p>(1) 自然との共生を軸とした国土の多様性の維持 (2) 持続可能で魅力あるまちづくり・地域づくり (3) 環境インフラやグリーンインフラ等を活用したレジリエンスの向上</p>	
<p>3. 地域資源を活用した持続可能な地域づくり</p> <p>(1) 地域のエネルギー・バイオマス資源の最大限の活用 (2) 地域の自然資源・観光資源の最大限の活用 (3) 都市と農山漁村の共生・対流と広域的なネットワークづくり</p>	
<p>4. 健康で心豊かな暮らしの実現</p> <p>(1) 環境にやさしく健康で質の高い生活への転換 (2) 森・里・川・海とつながるライフスタイルの変革 (3) 安全・安心な暮らしの基盤となる良好な生活環境の保全</p>	
<p>5. 持続可能性を支える技術の開発・普及</p> <p>(1) 持続可能な社会の実現を支える最先端技術の開発 (2) 生物・自然の摂理を応用する技術の開発 (3) 持続可能な社会の実現に向けた技術の早期の社会実装の推進</p>	
<p>6. 国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築</p> <p>(1) 国際的なルール作りへの積極的関与・貢献 (2) 海外における持続可能な社会の構築支援</p>	

※上記の案は、事務局の試案であり、今後変更があり得る。